

【想定出題趣旨速報】

2026年度 慶應義塾大学ロースクール入試

憲法

作成：The Law School Times 編集部

・総論

本問は、近時の地裁判例（東京高判令和5年6月28日）を題材として、出版物の頒布の事前差止めについて、北方ジャーナル事件、週刊文春記事差止め事件、石に泳ぐ魚事件、宴のあと事件等に関する基本的理解及びその応用力を問う出題である。

上記判例により明示された出版物頒布の事前差止めの判断基準や事実関係等を踏まえて、本問の事実関係との差異や特殊性に言及した上で、各判例が示した判断基準を展開するのか、自説を展開するのかについて、一定の理由付けと共に言及することが求められているといえよう。

慶應義塾大学ロースクールの出題趣旨において、「本問の設例の特質を的確に把握し、そこにおいて憲法論を展開する応用能力にほかならない」（2025年度慶應ロー出題趣旨参照）との指摘がなされていることから、有名判例の事実関係、そこで示された判断基準等と設問との差異に言及した上で、解答することが求められていることは明らかであろう。

構成としては、北方ジャーナル事件や週刊文春記事差止め事件、石に泳ぐ魚事件、宴のあと事件に依拠する構成が考えられるが、自説を踏まえた一貫した論述が求められていると思われる、構成によって差がつくとは思われない。

その他、詳細に記載された事実関係等について、適切な箇所での一定の評価を行うことが求められる。

後述のとおり、各判例について、何らかの形で詳細な言及があれば、上位答案になる一方で、詳細な言及がなくとも、自説を踏まえた一貫した論述ができていれば、合格答案になると思われる。

・各論

本問は、前述の各判例についての理解を前提に、自説を踏まえた判断基準を導出し、それに対して、深い当てはめを求めるものである。

上記各判例について、どの判例について言及しても構わないと思われ、「部落に属するという事実」を名誉権の一内容に含めると解するのか、プライバシー権の一内容に含まれると解するのか、はたまた人格権の一内容としての「差別されない利益」の一内容と構成するのか、複数の構成が採りうるところである。

名誉権の一内容に含めると解するのであれば、「その表現内容が真実でなく、又はそれが専ら公益を図る目的のものでないことが明白であつて、かつ、被害者が重大にして著しく回復困難な損害を被る虞があるとき」（北方ジャーナル事件）の3要件を前提に、当てはめを行うことが必要である。

プライバシー権の一内容に含まれると解するのであれば、「①その表現内容が公共の利害に関する事項に係るものといえないこと、②それが専ら公益を図る目的のものでないことが明白であつて、③被害者が重大にして著しく回復困難な損害を被るおそれがあるとき（週刊文春記事差止事件）」の3要件を前提に、当てはめを行うことが必要である。

人格権の一内容としての「差別されない利益」の一内容と構成するのであれば、北方ジャーナル事件・週刊文春記事差止事件等の判例が示した基準又は比較衡量を判断基準として指摘し、当てはめを行うことが必要である。

当てはめに際しては、一度旧版が公開されている以上、本件出版によるプライバシー侵害が観念できないのではないかとといった点や一度インターネット上で公開をしてしまえば、その抹消等につき、回復が困難であるといった点への言及が必要である。

事実が詳細多岐にわたり記載されていることから、各事実について、自己が示した判断基準に適切に当てはめすることが必要であった。

なお、北方ジャーナル事件は、出版物の頒布の事前差止めにつき、検閲を否定した上で、事前差止めの可否について検討を行っていることから、検閲について検討することもありえよう。

・雑記

慶應ロー入試でロースクール入試が一区切りの受験生について、先週の中央大学、早稲田大学ロースクール入試に続けての試験であり、疲労の蓄積等から、体調が万全ではない状態で試験に挑んだ受験生も多いと思われる。試験前の緊張で眠れず、睡眠不足の人もいるであろう。ロースクール入試が慶應ローで最後の方もいれば、国公立ロー等を受験する人もいると思われるが、いずれにせよ、出題趣旨・答案例を参照した後は、たくさん夜ご飯を食べ、ゆっくりと湯船につかり、リラックスをしてたくさん寝ていただきたい。誘惑に負けずに必死に努力をし、試験会場に足を運んだ自分を是非とも褒めたたえ、労わってほしい。しんどい試験を終えた直後にもかかわらず、この出題趣旨を参照するその姿勢は、合格を強く推認させるといえよう。この出題趣旨を参照した全ての受験生の合格を切に祈る。

予備試験論文式試験を受験予定の受験生について、3週連続の試験で疲れが溜まってきているところであろう。出題趣旨作成者も昨年、相当に疲れて、しんどかった記憶がある。ただ、この1週間で大きく差がつくのが予備試験である。残り1週間、体調管理をしっかりと行いつつ、頑張ってほしい。この出題趣旨を参照した全ての受験生の合格を切に祈る。

以上